



未利用熱活用

15 業種の工場設備の排熱実態調査報告書を公表

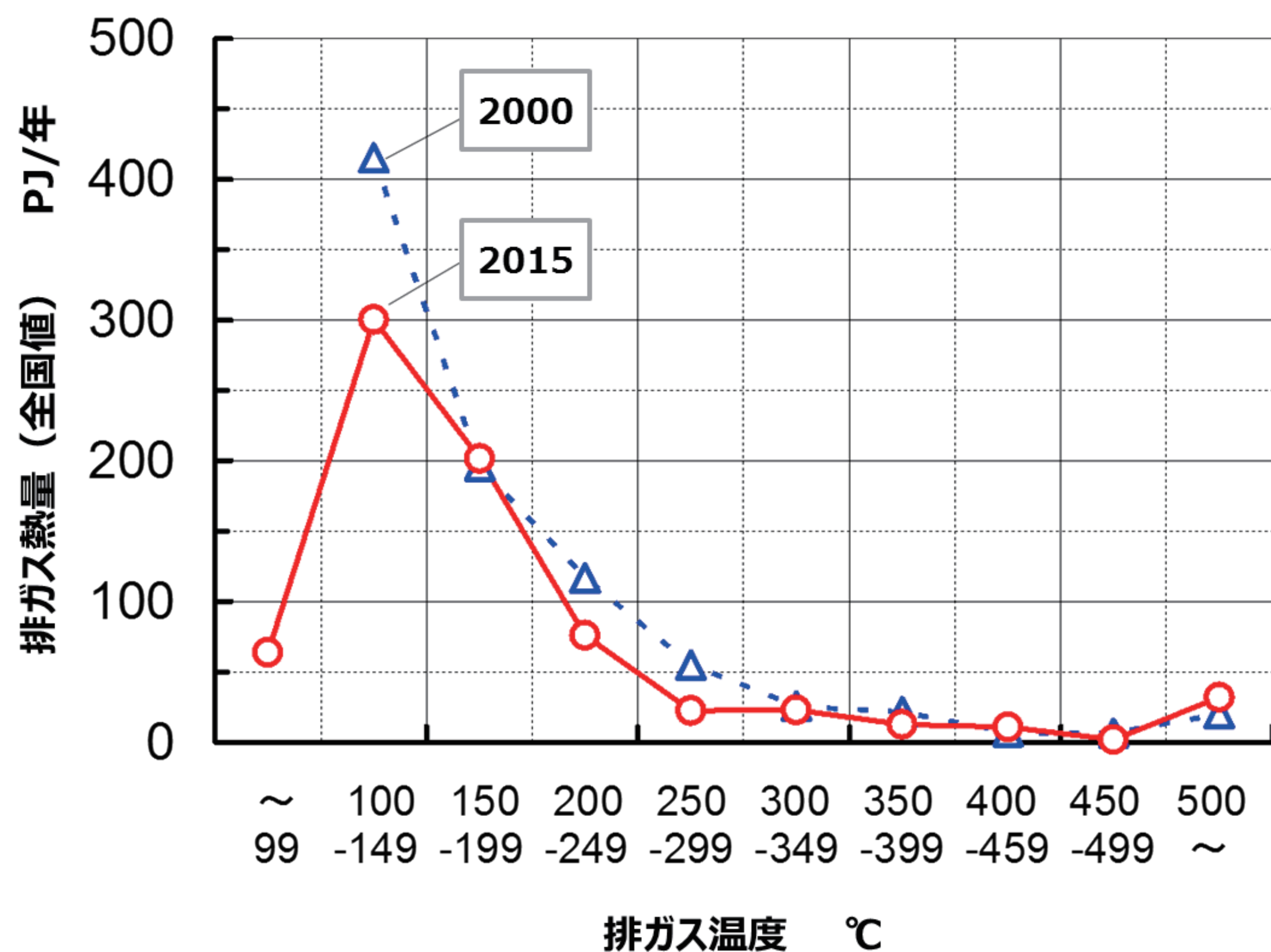
—200℃未満を中心とした未利用熱活用技術の開発、導入で省エネに貢献—

プロジェクト実施者：未利用熱エネルギー革新的活用技術研究組合（TherMAT）

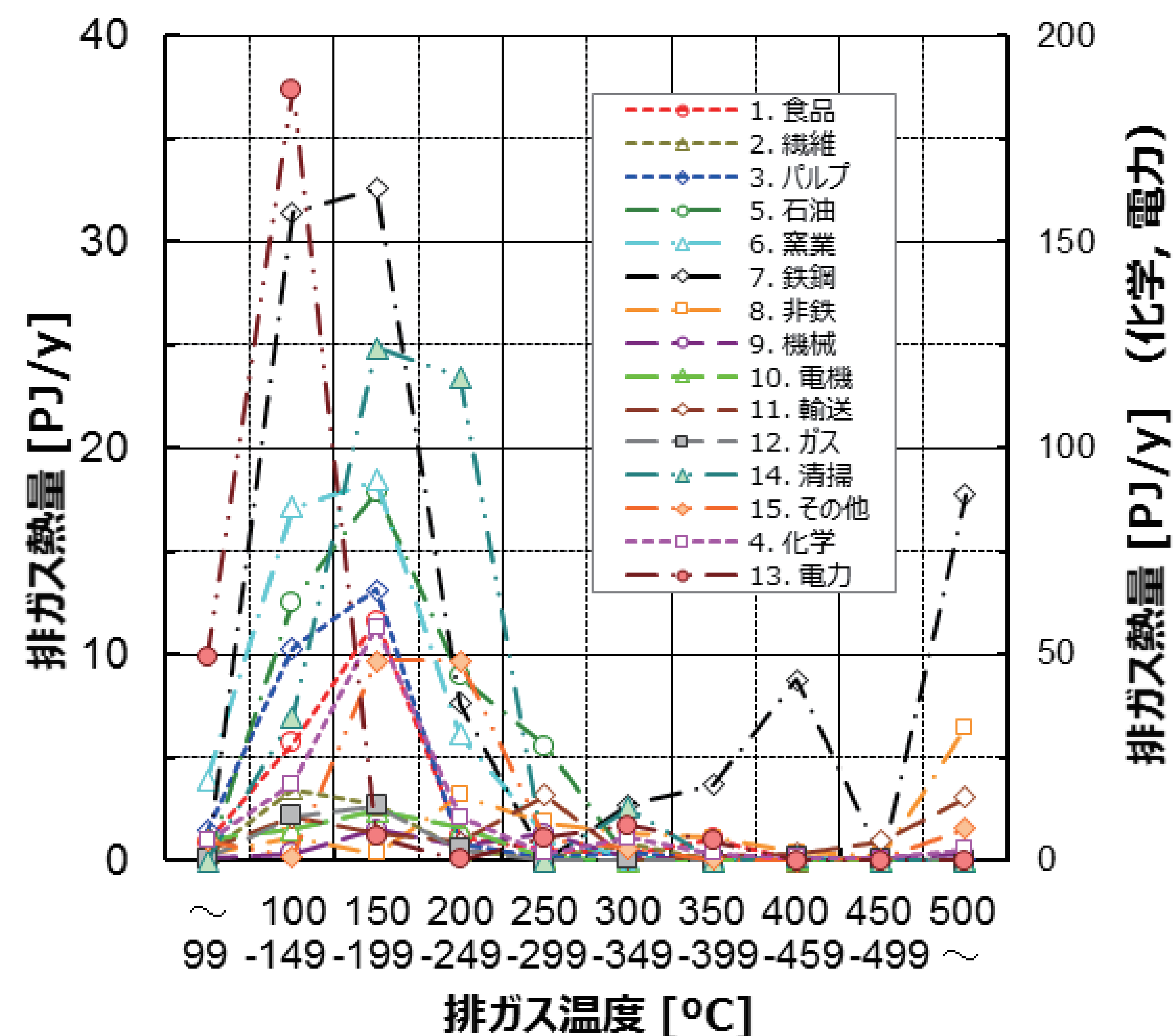
15 業種の工場設備の
排熱実態調査報告書



熱利用量の多い15業種を対象に、温度帯や量、排出される場所がさまざまな未利用熱エネルギーの排出・活用状況に関するアンケートを実施し（回答数：全国1273事業所）、産業部門において、200℃未満あるいは一部業種で500℃以上を中心として未利用熱が大量に排出されていることが分かりました。



15業種全体の排ガス熱量(全国値)について2000年度に行われた調査結果と比較したところ、2000年から約14%低下しており、2015年までの15年間に1割程度の省エネルギーが達成されていることが推測されました。



15業種の排ガス熱量の76%は200℃未満で、溶解や熱処理を伴う鉄鋼業、非鉄金属業、輸送機械業は500℃以上の高温の排ガスが多いことが分かりました。